二訂版

中学実力練成 αスタンダード

国語 3年

古文の知識や伊曾保物語等の問題集
中3国語｜中学実力練成αスタンダード

18 古文の知識(1)

例題　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

①ある驢馬病しける所に、獅子王来てその脈を取りこころむ。驢馬これをおそるる事かぎりなし。獅子王懇のあまりに、その身をあそこここを撫で廻して、「ⓐいづくか痛きぞ。」と②問へば、驢馬謹んでいはく、獅子王の御手の当たりⓑ候ふ所は、今までかゆき所も痛く候ふと、震い震いぞ申しける。

そのごとく、人の思はくをも知らず、懇だてこそ③うたてけれ。大切をつくすとⓒいふとも、つねに馴れたる人の事なり。知らぬ人にあまりに礼をするも、ⓓかへつて狼藉とぞ見えける。④

〈「伊曾保物語」より〉

（ライオン／その(＝ロバの)脈を取ってみた／親切も度が過ぎて／用心して／どこが痛いのか／ことさらに親切にすることは／無礼）

深める

■「伊曾保物語」は「イソップ物語」が基になっており、短い寓話（たとえ話）で、教訓を説いている。江戸時代あたりから出版され、物語の舞台を西洋から日本に移したり、動物たちが和服を着た挿絵をつけたりして、親しみやすく工夫されている。

1 歴史的仮名遣い▼　〰〰線ⓐ～ⓓを現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

ⓐ（　　）　ⓑ（　　）
ⓒ（　　）　ⓓ（　　）

要点のまとめ

1 歴史的仮名遣いに慣れる

ポイント　歴史的仮名遣いの原則を理解する。

◆語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」→「わ・い・う・え・お」

例 あはれ→あわれ　とふ→とう　おほし→おおし

◆「au・iu・eu」→「ô・yû・yô」

例 やうす（yausu）→ようす（yôsu）
あやしう（ayasiu）→あやしゅう（ayasyû）

◆「ゐ・ゑ・を」→「い・え・お」

例 ゐる→いる　ゆゑ→ゆえ　をとこ→おとこ

◆「ぢ」→「じ」　例 なんぢ→なんじ
◆「づ」→「ず」　例 よろづ→よろず
◆「くわ(ぐわ)」→「か(が)」　例 くわし→かし(菓子)

2 古文の言葉を理解する

ポイント❶　現代にはない言葉(古文特有語)に注意する。

・いと＝とても。　・いみじ＝はなはだしい。
・いらふ＝答える。　・さらなり＝言うまでもない。

例題 4 の「うたてけれ（＝うたてし）」は古文特有語。

ポイント❷　現代とは意味の異なる言葉（古今異義語）に注意する。

・あした＝朝。翌朝。　・めでたし＝すばらしい。
・やがて＝すぐに。　・うつくし＝かわいらしい。

SAMPLE

2　省略▼　――線①「ある驢馬病しける所に」を現代語に直すとき、「ある驢馬」のあとに補うことのできる助詞を平仮名一字で書きなさい。

□

3　主語▼　――線②「問へば」の主語を、古文中から抜き出しなさい。

（　　）

4　古語の意味▼　――線③「うたてけれ」の意味として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　すばらしいことだ　　イ　嫌なことだ
ウ　難しいことだ　　エ　簡単なことだ

□

5　係り結び▼　――線④「見えける」の「ける」の活用形として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形
エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

□

6　会話文▼　この文章中には、もう一か所「　」をつけることのできる部分があります。その部分を抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。

□～□

7　文章の把握▼　この文章に述べられている教訓として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　人の好意はありがたく受け取るべきで、相手の真意を疑ってはいけない。
イ　日ごろは敵対していても、いざというときには助け合うことが大切である。
ウ　相手の気持ちも考えずに、自分勝手に親切にしすぎるのはよくない。
エ　どんなに凶暴なものであっても、必ず良心をもっているものである。

□

3　古典文法の基礎を理解する

ポイント❶　係り結びの法則をおさえる。

文中に係助詞「ぞ・なむ・や・か・こそ」があると、文末（結びの部分）が終止形ではなく、連体形や已然形になるという法則。

助詞	結び	例文	意味
ぞ・なむ	連体形	例 花ぞ咲きたる。	強調
や・か	連体形	例 花や咲きたる。	疑問・反語
こそ	已然形	例 花こそ咲きたれ。	強調

例題　5では、直前に「ぞ」があることに注意する。

ポイント❷　古文の助詞・助動詞が現代語とは形・意味・用法が異なることを理解する。

〈助詞の例〉なむ・だに・ばや・てしがな・かし　など
〈助動詞の例〉き・けり・ず・む・めり・べし　など

4　古文を読む

ポイント❶　動作の主体（＝主語）をとらえる。

①　主語を示す助詞の省略に注意する。
例 風吹く。＝風が吹く。
②　「の」が主語を示す場合があることに注意する。
例 雪の降る。＝雪が降る。

例題　3では、主語を示す助詞の省略に注意する。

ポイント❷　会話の部分をとらえる。

①　引用を示す助詞「と」「とて」に着目する。
②　「言ふ」「申す」「問ふ」などの動詞に着目する。
例 父の言ふやう、「いざ行かむ。」と言ふ。

例題　6では、助詞「と」に注意して会話をとらえる。

SAMPLE

基本問題

1　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

今は昔、持統天皇と申す女帝の御代に、中納言*大神の高市麿と言ふ人有りけり。もとよりひととなり心直しくして、各に智り有りけり。また文（漢詩文）を学して、①諸道に明らかなりけり。然れば、天皇この人を以て世政②を任せ給へり。これに依りて、高市麿国を治め、民を哀れぶ。而る間（ある時）、天皇諸々の司（諸国の長に命じて）に勅して、猟に遊ばむ為に、*伊勢の国に行幸有らむとして、「速やかにそのまうけ（準備）を営むべし」と下さる（命令を下した）。而るに、その時三月の頃ほひなり。高市麿奏していはく（申し上げて）、「このごろ農業の頃ほひなり。かの国に御行有らば、必ず民の煩ひ無きに非ず。然れば、③御行有るべからず」と。天皇、高市麿の言に随ひ給はずして、なほ、「御行有るべし」と下さる。然れども、高市麿なほ重ねて奏していはく、なほ、この御行止め給ふべし。今農業の盛りなり。田夫（農夫）の憂へ多かるべしと。これに依りて、遂に御行止みぬ。然れば、民喜ぶこと限りなし。

〈「今昔物語集」より〉

（注）大神の高市麿＝人名。
伊勢の国＝現在の三重県。

〈栃木改〉

(1)　**歴史的仮名遣い▼**　〰〰線「随ひ給はず」を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

（　　）

(2)　**古語の意味▼**　――線①「諸道に明らかなりけり」の意味として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　さまざまな学問に精通していた
イ　農業に力を注いでいた
ウ　身なりが豪華で整っていた
エ　誰にでも明るく接した

□

(3)　**主語▼**　――線②「任せ給へり」の主語として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　高市麿　　イ　天皇
ウ　民　　エ　作者

□

(4)　**会話文▼**　この文章には、もう一か所「　」を付けることのできる部分があります。その部分を抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。

□～□

(5)　**内容理解▼**　――線③「御行有るべからず」とありますが、高市麿がこう言ったのはなぜですか。三十字以内の現代語で書きなさい。

SAMPLE

2　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

*大雅、かつて*淀侯の金屏風をかきけり。謝礼として使者来たりけるに、台所の入口より古紙書物など取り散らし置きて、さらに上り所なし。古紙をかたよせ、使者を通しけるに、謝礼として三十金をたまふ。大雅、礼を述べて、包みのまま床の上へ置きたり。その夜、盗人、床の側の壁を切り抜きて、包金を持ち去れり。

翌朝、妻、壁を切り抜きたるを見て、「定めて盗人のしわざならん。昨日、淀侯よりたまはりたる金は、いづくへ置きたまふや。」と言ふ。大雅、さらに驚く気色なく、床の上へ置きたり。無くば、盗人持ち去りたるならんと言ふ。門人ども来たり、この体を見て、「先生何故にこのやうに壁を切り抜きたまふや。」と言へば、昨日の夜、盗人入りて、淀侯より謝礼にも*らひたる*金子を持ち去りたるさうなと言ふ。門人の言はく、「壁あのさまにては見苦し。つくろひたまへ。」と言へば、かへつてさいはひなり。時は今、夏日にて、涼風を引き入るるによろし。また、外へ出るに、戸を開くの*うれへなしと言ふとぞ。

〈愛媛改〉

〈「逢原記聞」より〉

（注）　大雅＝江戸時代の画家である池大雅。
淀侯＝淀藩（現在の京都府の一部）の藩主。
金子＝お金。　うれへ＝煩わしいこと。

(1)　**歴史的仮名遣い▼**　〰〰線「さいはひなり」を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

（　　）

(2)　**主語▼**　――線「たまふ」は「お与えになる」という意味ですが、誰が与えたのですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　大雅　　イ　淀侯
ウ　妻　　エ　門人

（　　）

(3)　**会話文▼**　この文章には、大雅が言った言葉が三か所あります。その中で、二番目に言った言葉を抜き出し、初めと終わりの三字を書きなさい。

［　　］～［　　］

(4)　**文章の把握▼**　次の会話は、この文章を読んだ誠司さんと菜月さんが、大雅の人物像について話し合った内容の一部です。会話中の［A］・［B］に当てはまる言葉を、［A］は五字、［B］は二字で、文章中から抜き出しなさい。

誠司さん　「家の中が散らかっていたり、せっかくもらった謝礼を、［A］床の上に置いたりしているところや、切り抜かれた壁を修理せずに済ませようとしているところから、大雅はいいかげんなところがある人物だと考えました。」

菜月さん　「私は、細かいところにこだわらない、おおらかな人物だと考えました。家の中が散らかっているのは、絵をかくことに没頭しているからで、謝礼に関しては、なくなっていても、［B］様子がないことから、お金に執着していないのだと思います。」

A［　　］

B［　　］

SAMPLE

練習問題

1　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

或る山寺に、遁世の上人ありけり。①万の修行者の集まり、中に或る僧申しけるは、「法師は生まれてよりこの方、すべて腹立て候はず。」と言ふ。この上人学生なる故に、仏法の道理を以て是を信ぜず。「凡夫、貪嗔痴の三毒あり。聖者にてましまさば申すに及ばず。凡夫として、すべて腹立たぬ人はなきことなり。たとひうすきこきこそ□、いかでか三毒なからむ。」と言へば、「すべていささかも腹立せず。」と言ふを、なほ信ぜずして、②「実ともおぼえず。御房の虚言と覚ゆる。」と言はれて、「たたぬと言はば、たたぬにてこそあらめ。かくのたまふべきか。」とて、顔をあかめてしかりけり。

〈「沙石集」より〉

遁世の上人：世の中を離れて修行する優れた僧
学生なる故に：仏教を学んでいるので
聖者にてましまさば：聖人でいらっしゃるなら話は別である
凡夫として：愚かさという三つの毒がある
たとひうすきこきこそ□、いかでか三毒なからむ：程度の差があったとしても、三つの毒は必ずあるだろう
すべていささかも腹立せず：少しも
実ともおぼえず：本当とも思えない
御房の虚言と覚ゆる：あなたの作り話だと思われる
たたぬと言はば、たたぬにてこそあらめ：腹が立たないと言ったら、立たないのだ
顔をあかめてしかりけり：真っ赤にして怒った

〈岐阜改〉

(1)　〰〰線「言へば」を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

（　　）

(2)　――線①「万」の意味を現代語で書きなさい。

（　　）

(3)　□に当てはまる言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　あら　　イ　あり
ウ　ある　　エ　あれ

□

(4)　――線②「実ともおぼえず。御房の虚言と覚ゆる。」と話したのは、だれですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　作者　　イ　遁世の上人
ウ　万の修行者　　エ　或る僧

□

(5)　次の文は、この話に描かれた「或る僧」について説明したものです。□ⓐ・ⓑに当てはまる言葉を、それぞれ十字以上十五字以内の現代語で書きなさい。

或る僧は、□ⓐ□と言っていたが、それを信じてもらえず作り話だと言われたことで、ついには、□ⓑ□ので、話していることと実際の態度とが合わなくなってしまった。

ⓐ　10字

ⓑ　10字

SAMPLE

2　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。　〈香川〉

*紀伊中納言源治貞卿、はじめ*西条にましましし時、福田の橋洪水にあひて流れければ、新しく造りて架けけり。かの卿*物へ行くとて、そこを通り給ひしが、近くなりて馬より下り、橋の下に入りて見巡りつつ、「多くの人さこそ①力を尽くしけん」とて、そのまま歩み行きて橋の上にのぼり給ふほどに、御供の人々「御馬に*召さるべくや」と申しければ、②「いやとよ。多くの人の手にて造り出せる橋を、予はじめて渡るに、馬の蹄にかくる事有るべからず」とて、乗り給はざりけり。この卿はもとより学問を好みて、常の言ひぐさに、今世の人、*賢聖の書を読みて*義理を論ずといへども、我が身の上の事に引きあてて、悪しき心悪しき行を改めんとする事を知らず。これはいかなる事にか、予その心を得ずと宣ひけるとぞ。

〈「落栗物語」より〉

（注）紀伊中納言源治貞卿＝徳川治貞。和歌山藩九代藩主。
西条にましましし時＝西条（現在の愛媛県西条市）にいらっしゃった時。
物へ行くとて＝ある所へ行こうとして。
召さるべくや＝お乗りになりますか。
賢聖＝賢人と聖人。知徳の優れた人。
義理＝物事の正しい筋道。道理。

(1)　〰〰線「あひて」を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

（　　）

(2)　――線①「力を尽くしけん」とありますが、何をすることに力を尽くしたのですか。それを説明した次の文の□に当てはまる言葉を、五字以内で書きなさい。

多くの人が□ことに力を尽くした。

(3)　――線②「馬の蹄にかくる事有るべからず」の意味として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　馬の蹄で音を立てることがあってはならない
イ　馬の蹄が欠けることがあってはならない
ウ　馬の蹄で踏みつけることがあってはならない
エ　馬の蹄が汚れることがあってはならない

(4)　文章中には、「　」で示した部分以外に、もう一か所治貞卿の言葉があります。それはどこからどこまでですか。初めと終わりの三字を書きなさい。

□〰□

(5)　この文章で述べられている治貞卿の考えとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　書物を読んで道理について論ずるより、人とのかかわりを通して自分の心や行いを改めていくことが大切である。
イ　書物を読んで道理について論ずるより、人のことを自分の問題として、親身になって考えていくことが大切である。
ウ　書物を読んで道理について論ずるだけでなく、自分の体験したことから道理を身につけていくことが大切である。
エ　書物を読んで道理について論ずるだけでなく、それを自分の身に照らして考え、実践していくことが大切である。

SAMPLE

20 助動詞(2)

要点のまとめ

たい たがる	希望	そうすることを望む。 たい…話し手(書き手)の希望 たがる…第三者の希望	例わたしは帰りたい。 例人々が知りたがる。
う よう	推量 意志 勧誘	「たぶん～だろう」と推し量る。 「～しよう」という気持ち。 勧めたり誘ったりする。	例値段は高かろう。 例僕も努力しよう。 例一緒に作ろう。
た	過去 完了 存続 確認	動作・作用が過去のことである。 動作・作用が完全に終わる。 その状態が続いている。 相手に事実を確かめる。	例前に話を聞いた。 例今着いたばかりだ。 例青く塗った箱。 例君の本だったね。
ます	丁寧	丁寧な気持ち。	例研究を続けます。
だ です	断定	そうであるとはっきり言い切る。(です…丁寧な断定)	例あなたが委員長だ。 例今日は記念日です。
らしい	推定	根拠にもとづいて判断する。	例報告があるらしい。
ようだ (ようです)	推定 比喩(ひゆ) 例示	根拠にもとづいて判断する。 ほかのものにたとえる。 例として示す。	例ビルが建つようだ。 例綿菓子のような雲。 例彼のような人は多い。
そうだ (そうです)	様態 伝聞	「そう見える」と状況から判断。 人から聞いたことを述べる。	活用語の連用形・語幹につく 例劇が始まりそうだ。 活用語の終止形につく 例劇が始まるそうだ。
まい	否定の推量 否定の意志	「～ないだろう」 「～ないようにしよう」	例思いは伝わるまい。 例二度と会うまい。

1 次の――線部の助動詞の意味をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 作品はこれで完成だ。　② 委員会は三時からでしたか。
③ 今、終電が出たところだ。　④ 通勤客でこんだ電車に乗る。
⑤ かつて、ここには川があった。

ア 過去　イ 完了　ウ 存続　エ 確認　オ 断定

①	②	③	④	⑤

2 次の――線部を、〈　〉内に示した指示にしたがって、適切な表現に直しなさい。

① 公園で遊ぼう。　〈「ます」を使った表現にする。〉
② 彼は何かと人に頼る。〈「たい・たがる」の合うほうを使った表現にする。〉

①(　　)　②(　　)

3 次の――線部の助動詞の意味をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① さあ、全員で合唱しよう。　② だれも嫌だとは言うまい。
③ 明日は桜の花が咲きそうだ。　④ 宝石のような星々が輝く。
⑤ 台風が接近しているらしい。　⑥ わたしから先に謝ろうと思う。
⑦ 一人でいるのは寂しかろう。　⑧ ケーキのような甘いものが好きだ。

ア 推量　イ 意志　ウ 勧誘　エ 推定
オ 比喩(ひゆ)　カ 例示　キ 様態　ク 伝聞
ケ 否定(打ち消し)の推量
コ 否定(打ち消し)の意志

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧

SAMPLE

文法

21 まぎらわしい語の識別(1)

要点のまとめ

ない

① 計画が立たない。 **助動詞**〈否定〉（打ち消し）
「ぬ」と言い換えられる。

② 目標は何もない。 **形容詞**
単独で一文節。存在の否定を表す。

③ 外は明るくない。 **補助（形式）形容詞**
直前に「は・も」があるか、補える。

④ 話し方がおさない。 **形容詞の一部**
直前に「は・も」が補えない。

で

① 静かで広い庭。 **形容動詞の活用語尾**
「な」に言い換え、体言を修飾できる。

② 趣味は読書である。 **助動詞**〈断定〉
体言につく。「な」にすると不自然。

③ 自転車で出かける。 **格助詞**
体言につき、手段などを表す。

④ 子犬が遊んでいる。 **接続助詞**
動詞のイ音便・撥音便（はつおんびん）につく。

⑤ 頼んでも無駄だ。 **接続助詞の一部**
⑤「でも」、⑥「でも」、⑦「そうで」で一語。いずれも「で」を切り離せない。

⑥ スキーでもしようか。 **副助詞の一部**

⑦ 皆、楽しそうである。 **助動詞の一部**

1 次の――線部と同じ意味・用法のものを、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 約束の時間が過ぎたのに、友人はまだ来ない。
ア 今日は一日中忙しいが、明日は何も予定がない。
イ 父は決して弱音を吐かない我慢強い人である。
ウ 子供のあどけない笑顔は本当にかわいらしい。
エ 天気はあまり良くないが、ハイキングに行こう。

□

② 彼女は穏やかで、いつもにこにこと笑っている。
ア 今読んでいるのは、魔法が使える少年の物語だ。
イ 明日は午前中は雨で、午後から晴れるそうだ。
ウ 低気圧による荒天で、飛行機が着陸できない。
エ 祭りが行われていて、町はにぎやかである。

□

2 次の――線部の「ない」と同じ意味・用法のものをA群から、その品詞名をB群から、それぞれ一つずつ選び、順に記号で答えなさい。〈慶應義塾高〉

① 雪が積もって、土も草もない。
② 雪の野の冷たさは感じない。

A群
ア 残り少ない日々を大切にしよう。
イ この決断に後悔はしない。
ウ 切ない思いを胸に秘める。
エ 彼にはまだ威厳というものがない。
オ あっけない幕切れとなった。

B群
a 動詞　b 形容詞　c 形容動詞　d 助動詞
e 助詞　f 副詞　g 連体詞　h 名詞

①
②

3 次の――線部の「で」のうち、同じ意味・用法のものを二つ選び、記号で答えなさい。

ア 波が荒れそうなので、海へは近づかない。
イ 我が家は五人家族で、女性は母一人だけだ。
ウ ここは以前、万国博覧会が行われた会場である。
エ 大規模な工事が無事に済んで、ひと安心する。
オ この商品が今、いちばん売れているようである。

□

SAMPLE

コミュニケーション・表現編

3 さまざまな資料を読み取って書く

1 資料読取型

次の【資料1】【資料2】は、内閣府が十三歳以上二十九歳以下の人を対象に実施した「子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）」についての結果をまとめたものである。これらを見て、あとの問いに答えなさい。〈三重改〉

要点のまとめ

☆複数の資料で示された内容を比較・検討後、関連づけて考察し、自分の意見を書く。

① **それぞれの資料で提示された情報を、一つずつ正確に読み取る。**

・グラフや表…タイトル（＝話題となっている事柄）と結果（数値の序列など）をおさえて、全体における最大値・最小値や、大きな変化を示す部分に注目する。

・ポスターや写真…強調されている箇所や具体的な内容に注目する。

② **複数の資料の関係をとらえる。**

それぞれの資料から読み取った事実を整理して、資料を関連づけ自分の意見の理由（根拠）となる内容をまとめる。

着眼点 さまざまな観点で資料を比較・検討し、考えられる事実を導く。

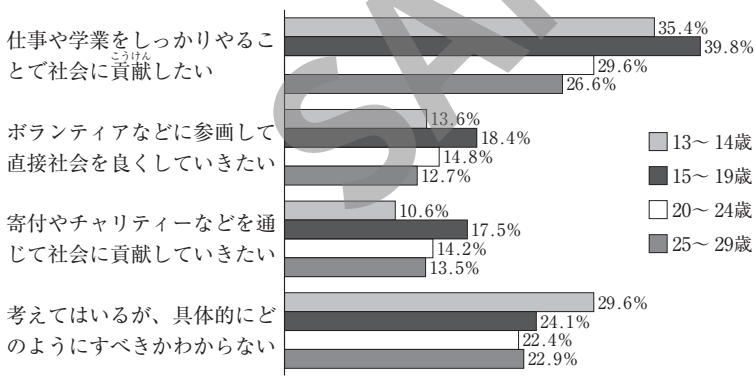
例 資料が提示されている理由は何か、共通する内容はどこか、異なる内容はどこか、数値に変化がみられるか、など。

③ **自分の意見をまとめて、結論を書く。**

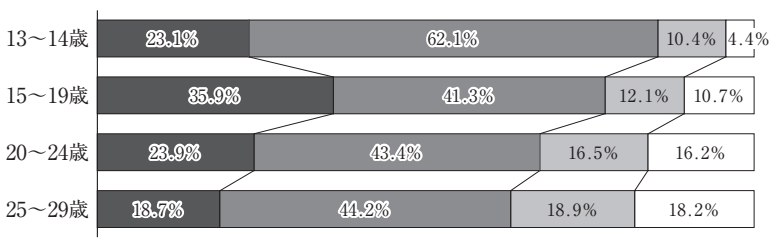
②で読み取った事実をもとに、意見を書く。どの資料から、どのようなことがいえるのかを書く。

例「この資料から……ということが読み取れる。よって……といえる。」

【資料1】　未来を良くするために何か行動しようと思っていますか（主な項目）



【資料2】　社会のために役立つことをしたいと思いますか



（内閣府「子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）」をもとに作成）

SAMPLE

(1) 【資料1】から読み取れることについて、当てはまらないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「仕事や学業をしっかりやることで社会に貢献したい」と答えた人の割合は、すべての年代で他の項目より大きい。

イ 「ボランティアなどに参画して直接社会を良くしていきたい」と答えた人の割合は、十五～十九歳が最も大きい。

ウ 「寄付やチャリティーなどを通じて社会に貢献していきたい」と答えた人の割合は、すべての年代で二割以下である。

エ 「考えてはいるが、具体的にどのようにすべきかわからない」と答えた人の割合は、年代が上がるにつれて小さくなっている。

(2) 【資料2】から読み取れることをまとめた次の文章の［　］ⓐ～ⓒに当てはまる言葉の組み合わせとして適切なものをあとから一つ選び、記号で答えなさい。

「社会のために役立つことをしたいと思いますか」についての回答では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、年代が上がるにつれて小さくなっている。また、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と答えた人の合計の割合は、二十～二十四歳、二十五～二十九歳で三割を超えている。年代別に見ると、［ⓐ］歳は、［ⓑ］歳に比べて「［ⓒ］」と答えた人の割合が小さく、また、「そう思わない」と答えた人の割合は他の年代と比べて最も小さい。

ア ⓐ十五～十九　ⓑ十三～十四　ⓒどちらかといえばそう思わない
イ ⓐ十五～十九　ⓑ二十～二十四　ⓒそう思う
ウ ⓐ十三～十四　ⓑ十五～十九　ⓒそう思う
エ ⓐ十三～十四　ⓑ二十～二十四　ⓒどちらかといえばそう思う

(3) あなたはどのようにして社会のために役立ちたいと考えますか。次の【条件】に従って、百六十字以上二百字以内で書きなさい。

【条件】
① 題名は書かずに本文から書き出すこと。
② あなたが考える理由を明らかにして、具体的に書くこと。
③ あなたの考えが的確に伝わるように書くこと。
④ 原稿用紙の正しい使い方に従って書くこと。

160

SAMPLE

2　**資料読取型**▼　F中学校では、毎年、F幼稚園の幼児とのふれ合い活動を行っています。次の【資料1】は、中学校から配布された資料の一部、【資料2】は、幼稚園から配布された資料の一部です。「秋を見つけよう」という活動を行うにあたり、グループ内で、幼児にかける言葉についての考えを述べ合うことになりました。あなたならどのようなことを述べますか。次の【条件】①～④に従って書きなさい。〈福岡改〉

【資料1】　【幼児とのふれ合い活動】

〈活動名〉
「秋を見つけよう」
〈目的〉
・幼児に，季節を感じるものを見つける喜びを味わってもらう。
・幼児に，身近な植物などへの関心をもってもらう。
・幼児に，友達と一緒に活動する楽しさを感じてもらう。
〈内容〉
・秋を感じるものを探す。
（様々な色の木の葉，どんぐり，松ぼっくり，すすき，いちょう，コスモスなど。）

【資料2】　【F幼稚園の幼児について】

・自分でできたり考えてやり遂げたりしたことを，ほめられたり認められたりすると，達成感を味わい自信をもって行動しようとする。
・自分がしていることや言ったことについて問いかけられると，自分の言葉で答えようとしたり，興味をもって行動しようとしたりする。
・生命の不思議さや尊さに気づくと，命あるものを思いやり，大切にしようとする気持ちをもって関わろうとする。

【条件】
①　文章は二段落構成とすること。
②　第一段落には、幼児に対して、どのような場面で、どのような言葉をかけるかを、【資料1】【資料2】を参考にして具体的に書くこと。
③　第二段落には、第一段落で書いた言葉をかける理由を、【資料1】の〈目的〉、【資料2】のそれぞれから必要とする情報を取り上げ、それらと結びつけて書くこと。
④　題名と氏名を書かず、原稿用紙の正しい使い方に従って、二百字程度で書くこと。

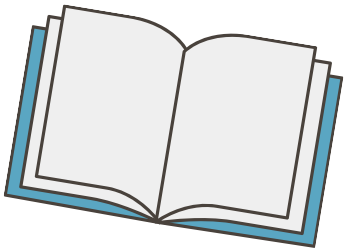
200

SAMPLE

紙面サンプルはここまでです。
弊社教材サンプルをご覧いただき
ありがとうございます。

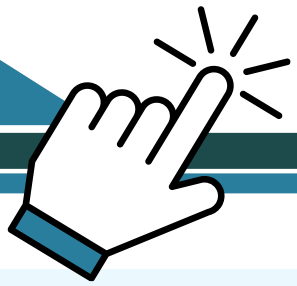
塾・学校の先生限定サイト

Bunri Teachers'Site へのご登録で、全ページ版をご覧いただけます。



登録無料で、他にも便利な機能がたくさん！
ぜひお役立て下さい。

Bunri Teachers'Site 会員登録はこちら



※ご登録には弊社発行の招待コードが必要です。

教材サポート

単元テスト、指導用資料、
学習サポートアイテムなど
指導をサポートするコンテンツ

最新の教育情報

社会時事問題、高校入試分析、
教科書採択情報など最新の
教育に関する情報をお届け

各種教材やテストの お問い合わせ・お申込み

生徒さま一人一人に合った教材・
テスト・デジタルコンテンツを
ご提案

※Bunri Teachers' Siteは，塾・学校の先生方のための情報サイトです。
ユーザー登録していただくことで，会員限定の詳細情報をご覧いただくことができます。
本サイトは一般の方のご利用をお断りしております。予めご了承ください。

お問い合わせフォーム
招待コード発行や教材の内容・ご購入方法等
お気軽にお問い合せ下さい。

資料ご請求フォーム
弊社教材カタログ、教材やセミナーの
最新情報をお手元にお届けします！

BUNRI